

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	132生きる力を育てる義務教育の充実		
施策のねらい (めざす姿)	良好な学習環境の中で、児童・生徒がたくましく生きる力を身につけています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	生涯学習部次長
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	マネージャー氏名	柴田 康弘

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	運営費の節減を進めつつ、当面続く児童・生徒の増加に対しては、基本的に既存する施設を活用することで、財政的負担の増加を最小限にとどめる。	③改革・改善内容	児童・生徒の増加への対応については、学習環境を維持しつつ、学校施設の効率的活用などを検討していく。
②①に基づく取り組み結果	施設の耐震化及び維持・補修事業に適正な事業費を確保しながら、児童・生徒の増加にともなう学級増への対応について、基本的に既存の授業で活用していない教室を活用することで財政的負担を最小限に止めた。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市内小中学校の児童生徒及び教職員並びに学校施設	意図(対象をどうするのか)	安全安心で良好な学習環境の中で、教職員が新たな学習課題に応じた高い専門性を身につけるとともに、幅広い視野と社会性を兼ね備えて指導にあたり、児童生徒がたくましく生きる力を身につける。
②施策の概要	必要な学習環境の整備を維持しつつ、少人数教育、特別支援教育、学校地域支援事業などを推進するとともに、専門性と社会性を備えた教職員を育成するための研修会を実施する。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	従来の教科指導、生徒指導に加え、教師としての力量・資質の向上や保護者対応をはじめとした、今まで経験しなかった教育課題に取り組むことが求められている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25～26年度の施策の成果	児童生徒の学習環境を整備するための経費が増加したが、教育水準の維持・向上が図られた。							
②施策成果指標	指標名称			単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	少人数指導教員配置数	人	14	14	14	14	
	ii	特別支援教育推進指導教員配置数	人	14	16	16	14	
	iii	不登校児童生徒出現率	%	0.7	1.0	1.2	0.8	
③基本事業成果指標	iv	義務教育施設耐震化率	%	77.5	100.0	100.0	100.0	
	i	特別支援教育推進指導教員配置数	人	14	16	16	14	
	ii	学校支援ボランティア数	人	549	551	684	現状維持	
	iii	教職員研修受講割合	%	100	100	100	100	
	iv	改修済み施設数	棟	31	51	51	41	
	v	スクールカウンセラー相談件数	件	973	889	1,567	増加	
	vi							
	vii							
	viii							
ix								
④施策の事業費	平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)	平成27年度予算				
事業費(千円)	945,489	1,982,838	(単位:円)	18,252	円	1,846,036		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	当面続く児童生徒の増加に対応できる施設を整備するとともに、児童・生徒一人ひとりの個性に応じた教育環境を維持拡充する必要がある。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	指導教員の適正配置、教職員研修により児童生徒一人一人の個性に応じた教育が図られた。また児童・生徒が安全で快適な環境のもとで学習ができるよう、施設設備の拡充が図られた。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する事務事業	情報教育に要する経費		
④上記方向性の説明	児童生徒の学習環境を整備するための経費の増加は見込まれるが、教育水準を維持・向上するためには必要となる。		